



## ヘッドセット自動応答の設定

---

この章では、Cisco Unified Communications Manager Express (Cisco Unified CME) のヘッドセット自動応答機能について説明します。

### このモジュールで紹介する機能情報の入手方法

お使いの Cisco Unified CME のバージョンが、このモジュールで説明されている機能の一部をサポートしていないことがあります。各機能がサポートされているバージョンのリストについては、「[ヘッドセット自動応答の機能情報](#)」(P.1183) を参照してください。

## 内容

- 「[ヘッドセット自動応答について](#)」(P.1177)
- 「[ヘッドセット自動応答の設定方法](#)」(P.1180)
- 「[ヘッドセット自動応答の設定例](#)」(P.1181)
- 「[その他の参考資料](#)」(P.1182)
- 「[ヘッドセット自動応答の機能情報](#)」(P.1183)

## ヘッドセット自動応答について

ヘッドセット自動応答機能をイネーブルにするには、次の概念を理解しておく必要があります。

- 「[ヘッドセットを使用したコールへの自動応答](#)」(P.1178)
- 「[回線とボタンの違い](#)」(P.1178)

## ヘッドセットを使用したコールへの自動応答

Cisco Unified CME 4.0 以降のバージョンでは、ヘッドセット キーがアクティブになっているときに着信コールに自動的に接続するよう、特定の電話機の回線を設定できます。電話機がアクティブ コールでビジー状態になることはなく、コールに自動応答するようヘッドセット キーを接続しておく必要があります。ヘッドセット ランプが点灯状態であれば、着信コールは電話機で 1 つずつ自動的に応答されます。ephone ごとに、1 つ以上の回線をヘッドセット自動応答用に指定できます。

電話機をヘッドセット自動応答用に設定したら、電話機ユーザがヘッドセット キーを押して自動応答を開始する必要があります。ヘッドセット ライトの点灯は、設定で指定された回線に対して自動応答がアクティブであることを示します。電話機がコールに自動応答すると、ジップトーンが再生されて、電話機ユーザにコールの存在が通知されます。自動応答を停止するには、電話機ユーザがヘッドセット キーを再び押すと、ヘッドセット ライトが消灯します。このとき、電話機ユーザはヘッドセットを使用して通常の方法でコールに応答できます。

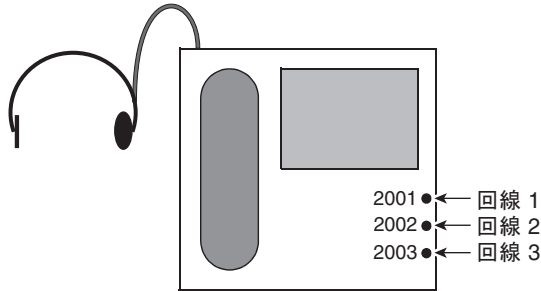
## 回線とボタンとの違い

回線は電話機のボタンと似ていますが、まったく同じではありません。回線とは、コール接続を行う電話機の機能を表しているため、コール接続を行うことができる各ボタンは回線になります。(たとえば、機能が設定されていないボタンや短縮ダイヤル ボタンは回線ではありません)。また、回線は ephone-dn と同じでないことにも注意してください。オーバーレイされた ephone-dn を持つボタンは、それに関連付けられた複数の ephone-dn (内線番号) があるかどうかに関係なく、1 つの回線にすぎません。ほとんどの場合、ephone の回線番号はそのボタン番号と一致しますが、一致しないこともあります。

図 59 に、さまざまなタイプの ephone 設定における回線番号とボタン番号の比較を示します。

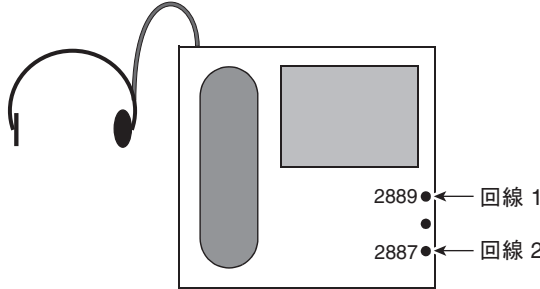
図 59 回線がボタンと同じになる場合

ほとんどの場合、回線番号は、ボタンに表示されているボタン番号と同じ。  
この例で、回線 1 はボタン 1、回線 2 はボタン 2、回線 3 はボタン 3。



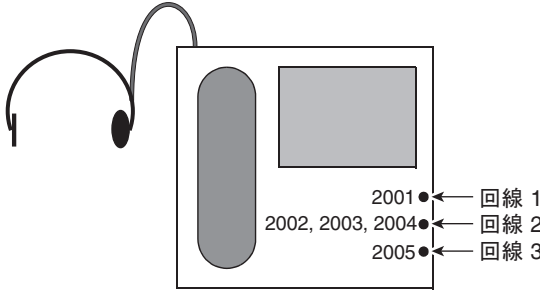
```
ephone-dn 21
 number 2001
ephone-dn 22
 number 2002
ephone-dn 23
 number 2003
ephone 2
 button 1:21 2:22 3:23
 headset auto-answer line 1
 headset auto-answer line 2
```

ただし、常にそうなるわけではない。次の場合、ボタン 3 は電話コールに接続される ephone-dn が割り当てられている 2 番めのボタンであるため、回線 2 はボタン 3 になる。ボタン 2 は使用されず、コールを取得できない。



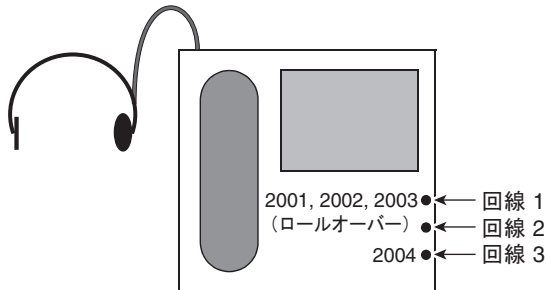
```
ephone-dn 33
 number 2889
ephone-dn 34
 number 2887
ephone 2
 button 1:33 3:34
 headset auto-answer line 1
 headset auto-answer line 2
```

次の例で、ボタン 2 には 3 つのオーバーレイ ephone-dn が割り当てられている (22、23、および 24)。これらの ephone-dn の 1 つのみが、いつでもこのボタンを使用してコールに接続できるため、ボタン 2 は 1 回線として定義される。



```
ephone-dn 21
 number 2 001
ephone-dn 22
 number 2 002
ephone-dn 23
 number 2 003
ephone-dn 24
 number 2 004
ephone-dn 25
 number 2 005
ephone 2
 button 1:21 2o22,23,24 3:25
 headset auto-answer line 2
 headset auto-answer line 3
```

オーバーレイ ephone-dn に対する拡張回線またはロールオーバー回線も、1 つの回線としてカウントされる。この例のボタン 2 も回線 2 になる。



```
ephone-dn 21
 number 2001
ephone-dn 22
 number 2002
ephone-dn 23
 number 2003
ephone-dn 24
 number 2004
ephone 2
 button 1o21,2 2,23 2x1 3:24
 headset auto-answer line 1
 headset auto-answer line 2
```

135076

# ヘッドセット自動応答の設定方法

ここでは、次の作業について説明します。

- 「SCCP : ヘッドセット自動応答のイネーブル化」(P.1180) (必須)
- 「ヘッドセット自動応答の確認」(P.1181) (任意)

## SCCP : ヘッドセット自動応答のイネーブル化

ヘッドセット自動応答をイネーブルにするには、次の手順を実行します。

### 手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **ephone phone-tag**
4. **headset auto-answer line line-number**
5. **end**

### 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	<b>enable</b>  例： Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。  • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ2	<b>configure terminal</b>  例： Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ3	<b>ephone phone-tag</b>  例： Router(config)# ephone 25	ephone コンフィギュレーション モードを開始します。  • <i>phone-tag</i> : 設定タスク中にこの ephone を識別する一意のシーケンス番号。実際の Cisco Unified CME システムの ephone の最大数は、バージョンとプラットフォームに固有です。値の範囲については、CLI のヘルプを参照してください。
ステップ4	<b>headset auto-answer line line-number</b>  例： Router(config-ephone)# headset auto-answer line 1	ヘッドセット ボタンが押されたときに自動的に応答される ephone 上の回線を指定します。  • <i>line-number</i> : 自動的に応答すべき電話回線の番号。 <b>(注)</b> さらに回線を追加するには、このコマンドを繰り返します。
ステップ5	<b>end</b>  例： Router(config-ephone)# end	特権 EXEC モードに戻ります。

## ヘッドセット自動応答の確認

- ステップ 1** **show running-config** コマンドを使用して、設定を確認します。ヘッドセット自動応答が出力の **telephony-service** 部分にリストされます。

```
Router# show running-config

ephone 1
  headset auto-answer line 1
  headset auto-answer line 2
  headset auto-answer line 3
  headset auto-answer line 4
  username "Front Desk"
  mac-address 011F.92B0.BE03
  speed-dial 1 330 label "Billing"
  type 7960 addon 1 7914
  no dnd feature-ring
  keep-conference
  button 1f40 2f41 3f42 4:30
  button 5:405 7m20 8m21 9m22
  button 10m23 11m24 12m25 13m26
  button 14m499 15:1 16m31 17f498
  button 18s500
  night-service bell
```

- ステップ 2** **show telephony-service ephone** コマンドを使用して、実行コンフィギュレーションの **ephone** 設定部分のみを表示します。

## ヘッドセット自動応答の設定例

次の例では、回線 1（ボタン 1）および回線 4（ボタン 4）の **ephone 3** でヘッドセット自動応答がイネーブルになります。

```
ephone 3
  button 1:2 2:4 3:6 4o21,22,23,24,25
  headset auto-answer line 1
  headset auto-answer line 4
```

次の例では、オーバーレイされた **ephone-dn** を持つ回線 2（ボタン 2）およびオーバーレイ ロールオーバー回線である回線 3（ボタン 3）の **ephone 17** でヘッドセット自動応答がイネーブルになります。

```
ephone 17
  button 1:2 2o21,22,23,24,25 3x2
  headset auto-answer line 2
  headset auto-answer line 3
```

次の例では、回線 2（ボタン 3）および回線 3（ボタン 5）の **ephone 25** でヘッドセット自動応答がイネーブルになります。この場合、ボタン 2 および 4 が使用されないため、ボタン番号は回線番号と一致しません。

```
ephone 25
  button 1:2 3:4 5:6
  headset auto-answer line 2
  headset auto-answer line 3
```

## その他の参考資料

次の各項では、Cisco Unified CME 機能に関連するその他の資料について説明します。

### 関連資料

関連項目	参照先
Cisco Unified CME の設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified CME Command Reference』</li> <li>『Cisco Unified CME Documentation Roadmap』</li> </ul>
Cisco IOS コマンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS Voice Command Reference』</li> <li>『Cisco IOS Software Releases 12.4T Command References』</li> </ul>
Cisco IOS の設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS Voice Configuration Library』</li> <li>『Cisco IOS Software Releases 12.4T Configuration Guides』</li> </ul>
Cisco Unified CME 用の電話機のマニュアル	<ul style="list-style-type: none"> <li>『User Documentation for Cisco Unified IP Phones』</li> </ul>

### シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
<p>右の URL にアクセスして、シスコのテクニカル サポートを最大限に活用してください。</p> <p>以下を含むさまざまな作業にこの Web サイトが役立ちます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テクニカル サポートを受ける</li> <li>・ソフトウェアをダウンロードする</li> <li>・セキュリティの脆弱性を報告する、またはシスコ製品のセキュリティ問題に対する支援を受ける</li> <li>・ツールおよびリソースへアクセスする <ul style="list-style-type: none"> <li>- Product Alert の受信登録</li> <li>- Field Notice の受信登録</li> <li>- Bug Toolkit を使用した既知の問題の検索</li> </ul> </li> <li>・Networking Professionals (NetPro) コミュニティで、技術関連のディスカッションに参加する</li> <li>・トレーニング リソースへアクセスする</li> <li>・TAC Case Collection ツールを使用して、ハードウェアや設定、パフォーマンスに関する一般的な問題をインタラクティブに特定および解決する</li> </ul> <p>この Web サイト上のツールにアクセスする際は、Cisco.com のログイン ID およびパスワードが必要です。</p>	<p><a href="http://www.cisco.com/en/US/support/index.html">http://www.cisco.com/en/US/support/index.html</a></p>

## ヘッドセット自動応答の機能情報

表 106 に、このモジュールで説明した機能、およびバージョンごとの拡張機能を示します。

特定の Cisco Unified CME バージョンをサポートするための適切な Cisco IOS リリースを判断するには、[http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/cucme/requirements/guide/33matrix.htm](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cucme/requirements/guide/33matrix.htm) にある『Cisco Unified CME and Cisco IOS Software Version Compatibility Matrix』を参照してください。

プラットフォームのサポートおよびソフトウェア イメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator では、特定のソフトウェア リリース、フィチャ セット、またはプラットフォームをサポートしている Cisco IOS ソフトウェア イメージを確認できます。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、<http://www.cisco.com/go/cfn> に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。



(注) 表 106 には、特定の機能に対するサポートを導入した Cisco Unified CME のバージョンが示されています。特に明記されていない限り、Cisco Unified CME ソフトウェアの後続のバージョンでもこの機能をサポートします。

表 106 ヘッドセット自動応答の機能情報

機能名	Cisco Unified CME バージョン	機能情報
ヘッドセット自動応答	4.0	ヘッドセット自動応答が導入されました。

